

## ボトルで 飼おう

アカヒレやベタなどは、小さくて酸素の消費量が少なく、水質の変化にも強いので、ビンやコップなどの小さな容器(水量 約500ml)でも元気に飼うことができるんだ。おしゃれなアクアインテリアを始めてみよう!



### ボトルアクアリウム

コップやビンの中で小さな自然を再現した“ボトルアクアリウム”という楽しみ方もあるんだ。観賞魚・植物・バクテリアによる自然界の循環を体験できるよ。飼育が上手になったらTRYしてみよう。



※密閉容器の場合は、少しだけフタを開けておこう。

## おすすめ 品種その1

### アカヒレ

混泳可能

適水温25℃(10℃~29℃)



**アカヒレ** 【体長】4cm  
中国広東省原産、赤い尾ひれが特徴。幼魚期はネオンテトラそっくりの色をしているよ。



**ゴールデンアカヒレ** 【体長】4cm  
アカヒレの改良品種で、綺麗なゴールデンの体色が特徴。

### グラミー

混泳可能

適水温25℃(20℃~29℃)



**ゴールデン・ハニードワーフグラミー** 【体長】5cm  
長い胸ビレで興味がある物をタッチする姿がとても可愛いよ。



**レッド・グラミー** 【体長】8cm  
シックな赤色が人気。少し大きめの容器(2ℓ以上)で飼育しよう。



**ドワーフ・グラミー** 【体長】6cm  
強い赤色と青色の発色が美しい人気のグラミー。



**ビグミー・グラミー** 【体長】4cm  
もっとも小さなグラミー。動きがゆっくりで穏和だよ。

## おすすめ 品種その2

### ベタ

ベタ同士は混泳不可

適水温25℃(20℃~29℃)



**トラディショナル・ベタ(青)** 【全長】7cm



**トラディショナル・ベタ(赤)** 【全長】7cm

一般的ベタはタイのメコン川流域原産の“ベタ・スプレンドス”からの改良品種なんだ。まず飼うための魚“ブラガット”がつくられ、その色彩の美しさから鑑賞目的の“トラディショナル・ベタ”へ。さらに“ハーフムーン”や“クラウンテール”などの“ショーベタ”へと様々な品種へ変化しているんだ。



**ブラガット**  
原種に近い形。



**ハーフムーン**  
半月状の尾ビレ。



**クラウンテール**  
王冠のようなギザギザの尾ビレ。

※飼育匹数の目安は500mlに1匹だよ。ベタはヒレの大きな魚を攻撃する習性があるので、ベタ同士と一緒に飼育することはできないんだ。でもヒレが小さなアカヒレなどとは混泳できるよ。  
※飼育可能な水温の範囲は目安です。なるべく適水温で飼育しましょう。  
※ショーベタを飼う場合は4、5ℓ程度の大きめの容器がおすすめだよ。

### 小型容器におすすめの水草

こげ流木付  
アマビナス ナナ



こげスティック付  
ミクソソリウム



こげボール付  
ミクソソリウム



マツモ



マリモ

流木やポットに活着した水草は、容器に入れるだけでレイアウトでき、掃除も簡単なので便利だよ。

日光が当たると水温が上がりすぎたり、コケが発生するので、直射日光に当たらない場所に設置しよう。また設置した日はエサを与えず、1週間は少なめにするのがコツだよ。

- 1 バケツで底砂を洗い、容器の底にしよう。  
※底砂はゼオライトの効果で水をキレイに保つカラぶちサンドがおすすめ
- 2 水道水を注ぎ、粘膜を守るカルキぬき「プロテクトX」を入れよう。



- 3 水草などをレイアウトしよう。水草は隠れ場所や水質の浄化にもなるんだ。
- 4 水温を合わせてから、容器に魚を入れよう。



## おすすめ 商品

### アカヒレ用

(別名: コッピー)



**ひかりベタ**  
内容量:2g

### ベタ用



**ひかりベタ**  
内容量:2g



**ひかりベタ**  
アドバンス  
内容量:5g

### グラミー用



**ネオプロス**  
内容量:10g



**水ごとネット**  
ベタ



**カラぶちサンド**  
全5色 内容量:120g